

No.1

「自分への挑戦」

7月30日から8月1日まで、かささぎ杯新体操競技会が佐賀県で行われました。
 この大会は、予選2種目の合計で上位40名が決勝に出場できるという大変厳しい大会です。
 最後まで諦めず、自分らしい演技をすることを心に誓い、挑みました。
 結果、決勝に進出することができ、決勝の2種目も小さなミスはあったものの、力を出しきることができました。
 この大会に出場できた経験を、ジュニアとしての残りの大会に生かしていきたいと思います。
 そして高校生になってからも、自分に負けずに挑戦していきます。

中学3年 秋山 涼



No.2

「沖縄での熱い戦い、九州小学生大会！」

平成29年8月9日から12日まで、沖縄県で開催された九州小学生大会に大分県を代表して、赤峰愛菜(6年)・本多来幸(6年)・大石花梨(6年)・岡雪子(6年)・植村凜(5年)・金ヶ江奈央(5年)・川上風音(5年)が団体と個人に出場しました。
 沖縄という暑い環境の中でも、自分達の最高の演技ができるように、夏休み返上で練習に励み、元気に出発しました。
 大きな緊張と不安を感じながらも、仲間とともに心をつなげて、本番では自分達の力を出し切ることが出来ました。
 この経験は、一人一人にとって一生の財産であり宝物です。
 これからまだまだ成長する素敵な選手達と共に、私も頑張っていきたいと固く誓いました。

堤 沙織 コーチ



「高い目標に向かって」

8月23日に長崎県で開催された全国中学校新体操選手権大会に、私は九州代表で出場しました。緊張と不安の連続でしたが、先生の言葉かけや、家族や友達からのメッセージが力となり、落ちついて大きなミスも無く2種目を演技することができました。演技をしている時の楽しさや終わった後の達成感や喜びは、新体操をしていてとても幸せに思います。まだまだ表現の仕方や難度の正確さなど不足している部分が多いので、これからも練習に励み、高校生になっても上を目指して頑張っていきたいです。

中学3年 伊藤 陽菜子



「世界へ羽ばたく教え子！ ユニバーシアード観戦！」

2017年8月27日から29日に、台湾で第29回ユニバーシアード新体操競技会が開催されました。日本代表として出場した東京女子体育大学の団体選手の中に、松永新体操クラブ出身の成松由加理(大学4年)と堀七瀬(大学2年)が選ばれ、華麗に演技をし、日本らしさを存分に魅せてくれました。特に、銀メダルを獲得したフープの演技は、全観客から絶賛の拍手を浴びるほどでした。教え子の晴れの舞台を、声ある限りの応援をした私は、心の底から「ありがとう！感動をありがとう！」と何度も叫びました。二人とも、幼児の時に新体操を始め、小学生・中学生の時には大分を代表して九州や全国大会で活躍し、別府鶴見丘高校に進学してからも文武両道の元、インターハイや国体でも大活躍をした後、新体操の伝統大学である東京女子体育大学の門をくぐりました。決して諦めず、前向きに努力する精神が今日あるのだと思います。そして、「新体操が好きだから頑張る」の心が、多くの人に感動と希望を与えてくれているのです。もう一度二人に言いたい「おめでとう！ありがとう！」と。

松永 悦子 代表

